

令和4年度一般会計当初予算（案）のあらまし

予算総額

429億6,910万8千円（対前年度+13億7,039万9千円）

予算総額は、対前年度13億7,039万9千円の増額となりました。増額の理由としては、市税をはじめとした自主財源の回復が見込まれる一方で、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種や介護保険、後期高齢者医療の各特別会計に対する繰出金などの歳出経費が増加したことによるものです。

経常的経費、臨時的経費、投資的経費別 予算額

区分	予算額
経常的経費	379億7,491万3千円（8億4,620万3千円）
臨時的経費	24億5,074万3千円（7億2,254万3千円）
投資的経費	25億4,345万2千円（▲1億9,834万7千円）

過去の当初予算額

年度	当初予算額	対前年度比	備考
令和4年度	429億6,910万8千円	+13億7,039万9千円	
令和3年度	415億9,870万9千円	▲26億6,273万6千円	
令和2年度	442億6,144万5千円	+37億1,666万3千円	過去最大の予算規模
令和元年度	405億4,478万2千円	+3億6,705万5千円	
平成30年度	401億7,772万7千円	+7億2,835万7千円	
平成29年度	394億4,937万円	▲1億5,706万4千円	

主な歳入予算

令和4年度当初予算（案） 主な歳入予算額 R3⇒R4

項目	予算額
市税	118.3億円 ⇒ 121.9億円（+3.6億円）
地方消費税交付金	20.9億円 ⇒ 23.4億円（+2.5億円）
普通交付税	78.0億円 ⇒ 87.6億円（+9.6億円）
臨時財政対策債	18.5億円 ⇒ 8.0億円（▲10.5億円）
財政調整基金繰入金	12.0億円 ⇒ 13.6億円（+1.6億円）
雑入（財源調整分）	5.0億円 ⇒ 5.0億円（±0億円）

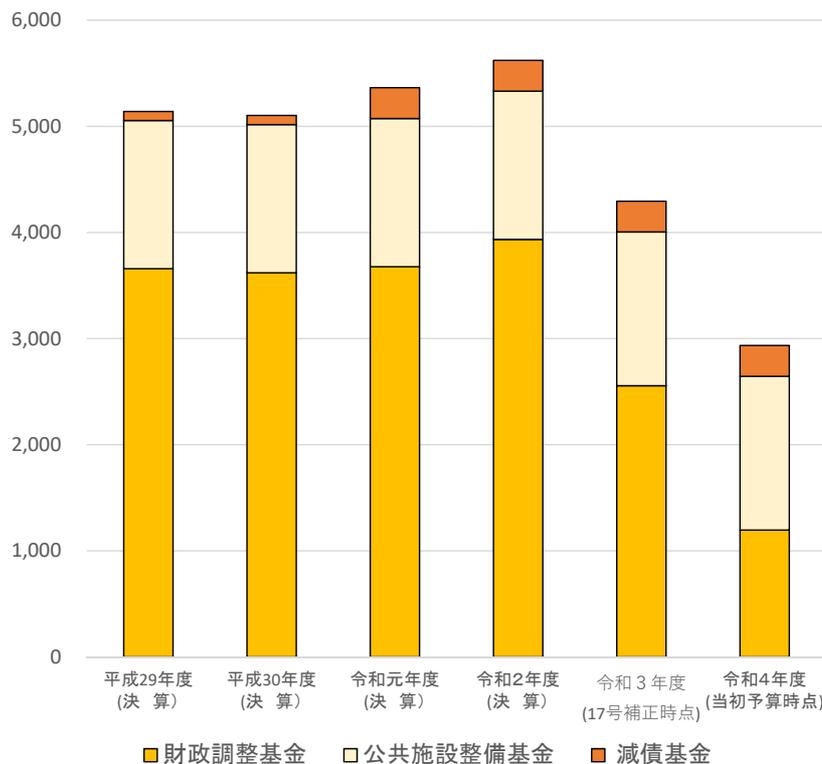
市税等の回復に伴って増収が見込まれます。一方、普通交付税と臨時財政対策債との合計ベースについては、予算編成上概ね前年度並みとしています。なお、国庫並びに府費支出金については、増収が見込まれるため、自主財源比率については、推移を見守る必要があります。また、財政調整基金の繰り入れと雑入を財源調整として計上しています。

過去の市税の推移

年度	市税予算額	対前年度比	年度	市税予算額	対前年度比
令和4年度	121.9億円	+3.6億円	令和元年度	124.6億円	▲0.2億円
令和3年度	118.3億円	▲7.1億円	平成30年度	124.8億円	+0.0億円
令和2年度	125.4億円	+0.8億円	平成29年度	124.8億円	+1.9億円

基金残高

主な基金残高推移 (注: 令和3年度、同4年度については、予算ベースでの残高)



年 度	財政調整基金	減債基金	公共施設整備基金
令和4年度末 (当初予算時点)	12.0億円	2.9億円	14.5億円
令和3年度末 (17号補正時点)	25.6億円	2.9億円	14.5億円
令和2年度末 (決算)	39.3億円	2.9億円	14.0億円
令和元年度末 (決算)	36.8億円	2.9億円	14.0億円
平成30年度末 (決算)	36.2億円	0.9億円	14.0億円
平成29年度末 (決算)	36.6億円	0.9億円	14.0億円

「羽曳野市の未来を創る～7つの柱～」 主な事業予算 ※特別会計及び事業会計を含む

① 行政改革の推進

区分	既存事業の見直し	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
効果額 増収 (+2億929万円)	下水道使用料の見直し <<下水道事業会計>>	12億5,067万円 ⇒ 13億9,142万円 (+1億4,075万円)
	ふるさと納税の充実 (企業版を含む)	8,600万円 ⇒ 1億5,454万円 (+6,854万円)
効果額 削減 (▲1,649万円)	互礼会開催委託料	36万円 ⇒ 0万円 (▲36万円)
	市税口座振替済通知書の廃止	105万円 ⇒ 0万円 (▲105万円)
	敬老祝品配送業務委託料	1,508万円 ⇒ 0万円 (▲1,508万円)
業務効率化	行政手続きのオンライン化に向けた電子申請基盤導入	0万円 ⇒ 154万円 (+154万円)
	預貯金等照会業務の電子化	0万円 ⇒ 105万円 (+105万円)
	議会ICT化	0万円 ⇒ 900万円 (+900万円)

② 子育て支援・学校教育の充実

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ソフト	A L T の増員	2,334万円 ⇒ 2,796万円 (+ 462万円)
	学習アプリの導入	0万円 ⇒ 762万円 (+ 762万円)
	スクールソーシャルワーカーの増員	458万円 ⇒ 723万円 (+ 265万円)
	留守家庭児童会の土曜開会の拡充	779万円 ⇒ 2,879万円 (+ 2,100万円)
	養育費の履行確保等支援事業補助金	0万円 ⇒ 100万円 (+ 100万円)
	こども未来館たかわしへの 登園管理システム導入費用	0万円 ⇒ 246万円 (+ 246万円)
ハード	はびきの殖生学園第2体育館整備事業	0万円 ⇒ 1億 28万円 (+1億 28万円)
	小中学校コンクリートブロック塀対策事業 (継続事業)	3,781万円 ⇒ 1億 55万円 (+ 6,274万円)
	学校給食センター整備事業	0万円 ⇒ 494万円 (+ 494万円)
	殖生幼稚園保育室増築事業	0万円 ⇒ 4,300万円 (+ 4,300万円)
	青少年児童センター体育館床工事	0万円 ⇒ 363万円 (+ 363万円)

③ 健康・福祉の充実と向上

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ソフト	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 《後期高齢者医療特別会計》	0万円 ⇒ 1,104万円 (+ 1,104万円)
	高齢者インフルエンザ予防接種業務委託 (75歳以上自己負担額：1000円→500円)	8,403万円 ⇒ 9,098万円 (+ 695万円)
	骨粗しょう症検診個別方式化及び検査精度の向上	69万円 ⇒ 118万円 (+ 49万円)
	医療用ウィッグ購入費用助成事業	0万円 ⇒ 20万円 (+ 20万円)
	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援	0万円 ⇒ 7,850万円 (+ 7,850万円)
	地域包括支援センター業務委託 《介護保険特別会計》	0万円 ⇒ 3,400万円 (+ 3,400万円)
	みまもりあいプロジェクト業務委託	0万円 ⇒ 80万円 (+ 80万円)
	特殊詐欺対策用機器の無料貸出し事業	0万円 ⇒ 138万円 (+ 138万円)

④ 交通・インフラ整備の促進

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ソフト	水洗便所改造資金助成制度拡充 《下水道事業会計》	158万円 ⇒ 363万円 (+ 205万円)
ハード	八尾富田林線関連道路(羽曳が丘西65号線)整備・ 西浦交差点部改良(予備設計)(継続事業)	1,500万円 ⇒ 2,600万円 (+ 1,100万円)

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ハード	本庁舎建替整備基本構想・基本計画策定	0万円 ⇒ 726万円 (+726万円)
	ボール遊びができる広場整備 (継続事業)	4,578万円 ⇒ 1億1,902万円 (+7,324万円)
	八尾富田林線 (藤井寺工区) 雨水管整備 (継続事業) «下水道事業会計»	1,695万円 ⇒ 2,228万円 (+533万円)
	壺井配水池更新 (継続事業) «水道事業会計»	895万円 ⇒ 1億2,200万円 (+1億1,305万円)

⑤ 安全・安心なまちづくり

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ソフト	地域防災力向上事業	17万円 ⇒ 59万円 (+42万円)
	地球温暖化対策実行計画策定	0万円 ⇒ 293万円 (+293万円)
	森林経営管理制度導入に向けた準備	0万円 ⇒ 130万円 (+130万円)
	犬猫マイクロチップ装着費助成金	0万円 ⇒ 50万円 (+50万円)
	災害時ペット同行避難の環境づくり	0万円 ⇒ 24万円 (+24万円)
ハード	主要幹線道路周辺への防犯カメラ設置	0万円 ⇒ 436万円 (+436万円)
	防災倉庫設置	0万円 ⇒ 634万円 (+634万円)
	生活文化情報センター空調機器入替事業	0万円 ⇒ 6,910万円 (+6,910万円)

⑥ 市民協働・地域自治

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ソフト	タウンミーティング、地域区長懇談会の開催	19万円 ⇒ 90万円 (+71万円)

⑦ 魅力あるまちづくり

	主な事業	予算額 (R3予算額⇒R4予算額)
ソフト	NHK「ラジオ深夜便のつどい」の公開収録事業	0万円 ⇒ 132万円 (+132万円)
	史跡解説看板等設置事業	0万円 ⇒ 212万円 (+212万円)
	電子図書館サービス	0万円 ⇒ 426万円 (+426万円)
	市民プール管理運営	0万円 ⇒ 1,892万円 (+1,892万円)
	(仮称) 羽曳野観光局の設立	0万円 ⇒ 500万円 (+500万円)
	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定	0万円 ⇒ 300万円 (+300万円)
ハード	SNSなど各種媒体を使用した情報発信事業	0万円 ⇒ 65万円 (+65万円)
	市民プール整備事業(継続事業)	1億6,876万円 ⇒ 3億9,642万円 (+2億2,766万円)
	旧浅野家住宅基本構想策定	0万円 ⇒ 982万円 (+982万円)
	市営向野住宅集約建替事業(継続事業)	10億4,531万円 ⇒ 12億356万円 (+1億5,825万円)

《 新型コロナウイルス感染症対策事業 》 ※当初、並びに1号補正

		主な事業	R4予算額
ソフト	感染対策	新型コロナウイルスワクチン接種事業	4億150万円 (当初予算)
		感染対策用物品の購入	738万円 (当初予算)
	健康支援	季節性インフルエンザ予防接種費用助成事業 ※75歳以上、中学3年生、高校3年生については無償	8,465万円 (当初並びに1号補正予算)
	子育て支援	多子世帯小学校給食費の無償化にかかる助成事業	5,397万円 (1号補正予算)
		多子世帯中学校給食費の半額化にかかる助成事業	521万円 (1号補正予算)
		保育園・幼稚園・こども園等における感染症対策事業	2,835万円 (当初予算)
		地域子育て支援拠点等における感染症対策事業	300万円 (当初予算)
	生活支援	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援	7,850万円 (当初予算)
	地域経済活性化	観光・シティプロモーション促進事業	3,000万円 (1号補正予算)
	ハード	感染対策	公共施設における感染対策事業 (空調設備整備事業)
小・中・義務教育学校体育館空調設備設置事業			3億9,398万円 (1号補正予算)
事業費合計			11億8,781万円